

令和4年度 第1回 学校運営協議会 議事録（概要）

日時：令和4年6月29日（水）

15：00～16：50

場所：大会議室

開会行事

・校長挨拶

・出席者紹介及び委嘱

委員の紹介と委嘱。

東 秀行・東谷卓哉・大方 豊・久保茂樹（欠）・大野正法

大野彰彦・長坂成行・馬淵律子・岡田恵美子・上田精也（敬称略）

議 事

I 令和4年度学校運営協議会 会長・副会長の選出について

学校長より原案の提示。会長、副会長の選出と「承認」。

II 「中期計画」および「令和4年度学校評価総括表」について

学校長より、資料「中期計画」「令和4年度学校評価総括表」を用いて説明。

（説明内容）

- ・ユネスコスクールをスクールミッションの中核に据え取組を進めていく。
- ・学校の教育活動に関する目標及び目標値等については、奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示すテーマに沿って設定している。
- ・年度末には「令和4年度学校評価総括表」内にある「学校関係者評価」を運営協議会委員にさせていただくことになる。

「中期計画」について

（質疑応答）各項目について、委員からの質問に回答。

1. 「こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ」

委員：「体力の向上」の目標値を目指すに当たり、どのような対策を講じているか。

学校：体育の授業や部活動を通して、生徒の体力向上に努めている。

2. 「学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ」

委員：「学習意欲の向上」の目標値の文言整理を。

4. 「地域と協働して活躍する人を育てる」

委員：「グローバルマインドの育成や外国語教育の推進」の目標値に「異なる文化的背景をもつ仲間と情報交換し」とあるが、交流している場面は散見されるのか。

学校：帰国生が在籍しているので日常的に見られる光景であるし、今秋ドイツの交流校から生徒が来校する予定である。

「学校評価総括表」

2. 「学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ」

委員：「学習意欲の向上」について、「授業時間外でICTを活用した学習」とあるが、家庭での予習や復習に使うということか。ICTを活用する手法があるのか。

学校：家庭学習での利用が求められるところである。自宅で個人学習を行い、学校で

は対面での学び合い授業がGIGAスクール構想である。

委員：全員が学習用端末を自分で用意することになるのか。

学校：基本的には自分で買うことになる。ただし、購入が困難な生徒については県教委が端末の貸出を行うシステムになっている。

委員：昨今、実際に本を使う機会が減っていると思うが、GIGAスクール構想が進んでしまうと、ますます生徒の本離れが進むのではないかと心配している。

学校：9月から1年生全員が学習用端末を使用していくわけであるが、ご指摘の課題に対してどう対処していくかが今後の課題であると考えている。

学校：インターネットを活用した調べ学習を行っても紙の本がなくなることはないと思う。インターネット上の情報は限られているので更に詳細な情報を得なければ紙の本に当たるしかない。本の大切さについて生徒に伝えることが教員の使命だと考えているので、情報科の授業の中でも生徒にはそのように伝えているところである。

- ・協議会として、「中期計画」および「令和4年度学校評価総括表」について「承認」。

Ⅲ 学校の現状と今後の方向性について（分掌・学年・学科より）

総務部、教務部、生徒指導部、進路指導部、人権教育部、国際教育部、図書・情報教育部、生徒会指導部、健康体育部、第1学年、第2学年、第3学年、歴史文化科、総合英語科、事務室の順に、現状と課題及び今後の取組について説明。

Ⅳ 意見交換

委員：保護者、学校、地域で協力して生徒の育成に取り組む中で、地域の特色を活かした、歴史や文化についての講演会など、三者の交流の場が構築されることを願う。

委員：主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の指標として、授業満足度を活用されるようだが、どの生徒にとっても授業の満足度を上げていくことを望む。

閉会行事

- ・校長挨拶 ユネスコフォーラムが1月7日（土）に開催予定。